

前橋第九合唱団第53回演奏会

マスカーニ 作曲：歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より「オレンジの花は香り」
P Mascagni: opera 《Cavalleria rusticana》“Preludio” “Gli aranci olezzano”

ベートーヴェン 作曲：交響曲第9番 二短調 作品125「合唱付」
L.v. Beethoven: Symphonie Nr.9 op.125 “Choral”

新たな会場で
新たな挑戦!!



Conductor
Shigeo GENDA

©K.Miura

指揮 ■ 現田 茂夫

ソプラノ ■ 伊藤 晴
アルト ■ 富岡 明子
テノール ■ 鈴木 准
バリトン ■ 萩原 潤

管弦楽 ■ 群馬交響楽団

合唱 ■ 前橋第九合唱団

音楽監督：田島 英子

合唱指導：山田 哲夫・高田 葉月・大谷 瑞枝

Soprano
Hare ITO



©FUKAYA auna Y2

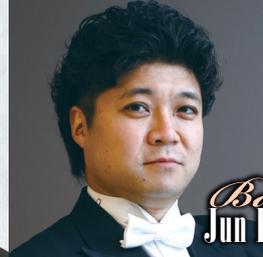
Alto
Akiko TOMIOKA



Tenor
Jun SUZUKI



Baritone
Jun HAGIWARA



2025

12.21 日 (1:30pm開場)
2:00pm開演

主催 ■ 前橋第九公演実行委員会

お問い合わせ ■ 前橋第九合唱団事務局

〒371-0805 前橋市南町3-37-12

TEL 027-224-7331 / FAX 027-212-3556

昌賢学園まえばしホール 大ホール
(前橋市民文化会館)

S席 ¥5,000 / A席 ¥4,000 / B席 ¥3,000 高校生以下各500円引

共催 ■ 公益財団法人 前橋市まちづくり公社

後援 ■ 前橋市 / 群馬県教育委員会 / 前橋市教育委員会 / 前橋市民音楽連盟
前橋商工会議所 / 上毛新聞社 / FM GUNMA / まえばしCITYエフエム

プレイガイド 一般発売日：10月1日

昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館) / (株) 煥乎堂

PROFILE OF PERFORMERS

出演者のプロフィール

現田 茂夫 (げんだ・しげお) 指揮



©K.Mura

1979年東京音楽大学指揮専攻に入学。汐澤安彦、三石精一両氏に師事。1982年東京藝術大学指揮専攻に入学。佐藤功太郎、遠藤雅古両氏に師事。ドレスデンフィル、スロヴァキアフィル、プラハ交響楽団、サンレモ交響楽団等に客演し、コンサート、オペラ両面で活動を続ける。1994年のプラハの春での佐藤しのぶコンサートは全ヨーロッパで放映された。神奈川フィルハーモニー管弦楽団名誉指揮者。他、国内外の主要オーケストラも指揮し好評を得ている。オペラ指揮者としての経験は豊かで二期会21、関西二期会、錦織健プロデュースオペラ、佐藤しのぶ「夕鶴」公演等、歌手からの信頼も厚い。NHKのFM「シンフォニー・コンサート」のパーソナリティを長年務める等バラエティに富んだ活動を行なっている。

伊藤 晴 (いとう・はれ) ソプラノ



三重大学卒業、武蔵野音楽大学大学院修了。ミラノ、パリで研鑽を積み、パリ地方音楽院修了。藤原歌劇団『ラ・トラヴィアータ』『愛の妙薬』『ラ・ボエーム』『蝶々夫人』等に出演。日本オペラ協会「夕鶴」つう役は、芯の強さと儚さを兼ね備えた表現で好評を得る。新国立劇場『夢遊病の女』リーザ、『カルメン』ミカエラ、鑑賞教室『蝶々夫人』タイトルロール等で出演し、25/26シーズン『ラ・ボエーム』ムゼッタで出演予定。コンサートではモーツァルト「レクイエム」、「カルミナ・ブラーナ」、ラヴェル「シェエラザード」等のソロ、またロームシアター竣工式にて小澤征爾指揮「第九」ソリストを務める。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。愛知県立芸術大学、武蔵野音楽大学各非常勤講師。

鈴木 准 (すずき・じゅん) テノール



東京藝術大学大学院にて音楽博士号取得。同大学の特別研究員として渡英。これまで多くのオペラに出演、殊に『魔笛』タミーノは東京二期会・新国立劇場・日生劇場・兵庫芸術文化センター等数々の公演で高い評価を得る。ニューヨーク・オラトリオ協会初来日公演で「メサイア」ソリストを務めた。バッハ・コレギウム・ジャパンでは国内外の公演・録音に参加。J.S. バッハ「マタイ受難曲」等宗教曲のソリストとして活躍する他、「戦争レクイエム」、「セレナード」、「カーリユール・リヴァール」等のプリテン作品演奏もライフワークとする。作詞家・松本隆氏の現代語訳によるCD〈冬の旅〉〈白鳥の歌〉をリリース。桐朋学園大学准教授。東京藝術大学講師。二期会会員

群馬交響楽団 管弦楽

1945年戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して創立、1955年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947年から始めた移動音楽教室は、2024年度までに延べ653万人を超える児童・生徒が鑑賞した。1994年に「プラハの春国際音楽祭」、「ウィーン芸術週間」から同時に招待を受け4カ国を巡る海外公演を実現。

群馬交響楽団は、定期演奏会、移動音楽教室をはじめ幅広い音楽活動を展開し、群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されている。また2019年9月開館の「高崎芸術劇場」に活動拠点を移し、飯森範親常任指揮者のもと、さらなる演奏活動の飛躍・向上を目指している。定期演奏会は2024年7月に第600回に達し、2025年に創立80周年を迎える。

前橋第九合唱団 合唱

1973年に前橋音楽鑑賞会の12月例会の「第九演奏会」に出演する合唱団として結成され、本年度53年目となる。1977年のビゼーのオペラ「カルメン」の公演以外、毎年「第九」の公演を行ってきたが、1988年以降は第九の他にもう1曲の合唱にも取り組んできた。ただ2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大によりやむなく公演を中止した。

また、同年には創立時から公演のステージである「群馬県民会館」について県有施設としての廃止問題に取り組み、中心となって『群馬県民会館の存続を願う会』という団体を立ち上げ、2万人を越える署名を集めた。現在も旧県民会館を利活用する運動をすすめている。

コロナ禍の2021、2022年は例年200名以上で構成していた合唱団の出演人数を制限する形で公演し、成功させた。

本年は、新たな会場にて「第九」と「カヴァレリア・ルスティカーナ」より「オレンジの花は香り」に取り組み、心をひとつにして本番に臨む。



※当公演では、出演者へのお手紙・プレゼント・祝い花の受け取りは全てお断りさせていただきます。

※発熱があるなど、体調に不安がある方のご来場はお控えください。

※未就学児のご入場はご遠慮下さい。(託児所はございません。)

※会館の駐車場が満車になった場合、周辺の有料駐車場をご利用下さい。なお、駐車料金は自己負担となっておりますので、予めご了承ください。

お願い